

ステパノの殉教⑤宣教(4)続・モーセ

使徒の働き7:35-41
2015,11,22 HKJCF

概観

序)①アブラハムへの祝福②ヨセフの信仰③モーセと出エジプト

- 1、荒野の旅 V35-38
- 2、金の子牛 V39-41
- 3、偶像礼拝
- 4、結論・適用・祈禱

I 荒野の旅

1、危機

- ①戦・水・食料 出14:8-14,15:22-27,16:1-8
- ②信仰とビジョンの喪失 民13:21-33
- ③リーダーへの不満 民14:1-5

2、メシア預言 申18:14-18

⇒①祭司の民になるため信仰の訓練が必要②モーセは出エジプトのためのリーダー 天国への旅のリーダーはイエス様

II 金の子牛

- 1、契約・十戒・律法 出19:18,20:1-7
- 2、エジプトへの執着 民11:4-5
- 3、金の子牛の偶像 出32:1-6

⇒①モーセ不在時の不安・奴隷精神と欲望・未自立の信仰②エジプトの偶像・地中海諸国の偶像③出エジプトから脱エジプトへ:祭司の民の訓練

民14:20-25

III 偶像礼拝

1、偶像礼拝の罪

①神様との契約違反②欲望の投影③神様の限定化→自己神化=奴隷化

2、モーセ契約の特徴 出19:1-8

3、偶像礼拝への警告

再契約の恵み 出34:1-17

⇒①信仰の自立のための契約と律法
②律法で認罪、方向転換してキリスト信仰へ 契約→再契約→新しい契約

IV 結論・適用・祈禱

一荒野の旅の訓練

- ①神様と指導者への信頼
 - ②契約・律法への従順
 - ③祭司の民としての礼拝
- ⇒やがて、約束の地から天国へ